

# がんばる! にちなんびと 日南町民ミュージカル実行委員会



かわむら たつや  
実行委員長 河村 達也さん(大宮)



つぼくら ゆきの  
坪倉 由妃乃さん(山上)

## 町民ミュージカルが生まれた経緯は

町民ミュージカルは、平成8年に始まり20年以上継続して行ってきました。毎年行ってきましたが、近年は不定期での上演となっています。新作のときや再演のときもありますが、今回は新作の上演となります。日南町の魅力をミュージカルという形を通して、町内外に発信したいとの思いで行っています。

## 町民ミュージカルに関わってきた

私は、途中から誘われて実行委員に加わりました。ミュージカルには、小学生から大人まで幅広い年代の方が参加しており、世代を超えた繋がりを持つことができました。また、参加することで日南町の魅力を発信したいとの思いも強くなりました。

## 子どもたちも参加している

今回参加してくれた子どもたちは、ほぼみんな自主的に参加してくれました。普段関わらない大人の人と接すること。多くの方に自分たちの姿を見てもらうことは貴重な体験になると思います。そういった経験は、これからいろんな場面で糧となり役立つと思っています。また、いろんな場面で自分自身を表現できるようになって欲しいです。

## 今回の作品テーマになった経過は

昨年は、ミュージカル公演ができず気になっていました。友人から「船通山・熱田神宮・皇民が北緯35度線上にならんでいることに関するミュージカル脚本を書いたので公演しよう。」との誘いを受け、興味深い内容であったので、公演を思いました。

## 今回の作品の魅力は

日南町の神話などをもとにした作品です。日南神光社さんやNDSの坪倉万葉さんなど、いろいろな方面から多くの方にご協力を頂いて出来た作品です。日南町の魅力を題材にした曲も出てきますので、楽しみにしていただければと思います。

## 最後に一言

日南町の魅力を伝えようと子どもから大人まで練習をがんばっています。きっと日南町の新しい発見が出来る作品だと思いますので、皆さんに観に来ていただくと幸いです。

## 出演しようと思ったきっかけは

私は、小学校1年生からずっと町民ミュージカルに出演してきました。ですので、今回の作品の上演が決まったときから、出るしかない決めました。

## 今回の役を聞いたときは

先生の役なのは聞いていたのですが、台本をもらって台詞が多く驚きました。ダンスは部活でやっているのになれていますが、初めは短い期間で台詞を覚えられるかと不安もありました。

## 練習で演じてみて

今回は先生役なので、先生になりきるのが難しいと感じています。生徒から昭和生まれといわれるシーンもあるので、しっかり大人に見えるように演技したいです。台詞もあともう少しで完璧に出来るようにしたいです。

## 町民ミュージカルの魅力は

やはり参加する年齢層が広いので、いろんな年代の方と関わりが持てることです。また、多くの町民の方に日南町の魅力を伝えられることです。

## みどころは

ダンスシーンをぜひ観てもらいたいです。覚えるのが大変ですが、その分迫力のあるものになっていますので、楽しみにしてください。

## 最後に一言

本番に向けて一生懸命がんばっています。多くの方に今回の作品を観に来ていただくと嬉しいです。

公演の詳細は、P17をごらんください。

